

番 号	1 9	区 分	町指定文化財
種 別	無形文化財	保 持 者	田立歌舞伎保存会
名 称	田立歌舞伎		
指定年月日	昭和48年4月18日		
所 在 地	南木曾町田立		

概 要

歌舞伎は江戸後期の文化文政時代に爛熟期を迎え、江戸での隆盛は歌舞伎の地方浸透を促し、田立歌舞伎もこの頃に習い覚えたものと推察される。田立歌舞伎の系統は、今でも師匠が中津川市阿木から来ているように美濃歌舞伎である。その起源は、津羽沢小幡家文書によれば「同（享保）14年（1729）南宮ノ森ニテ狂言始テ執行」とあるように、はっきりしている。また同資料から宝歴12年（1762）からは南宮社のお祭りには必ず演じられたことが分かる。

歌舞伎は当時最大の娯楽であり、田立では秋祭りと正月に上演されていた。秋祭りには神社の舞台上、正月には主な家々を巡回してそれぞれ上演した。五宮神社の舞台は台柄座といって、明治4年に建てられた回り舞台もある本格的なものであったが、大正12年に浮浪者の失火から焼失してしまった。

町内にはこのほか、与川・蘭・妻籠等でも行われていたが、現在継承されているのはこの田立歌舞伎だけである。

